

新型コロナウイルスの感染防止対策を踏まえた公園等の

計画・設計及び利活用に関する研究

Research on planning, design and utilization of parks based on preventative measures against covid-19

(研究期間 令和3年度～令和4年度)

社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室 室長	松本 浩
Research Center for Infrastructure Management	Head MATSUMOTO Hiroshi
Landscape and Ecology Division	主任研究官 山岸 裕
	Senior Researcher YAMAGISHI Yutaka

Based on the outbreak of covid-19 infection, we are going to compile a technical report for park managers with the aim of contributing to the promotion of effective urban park projects in the future, that summarizes the points and notes of planning, design, management and operation based on infection prevention measures, utilization corresponding to the new normal and so on.

In fiscal 2022, we did a literature survey on the use of parks after the outbreak of covid-19 infection, organized infection prevention measures and utilization of urban parks from now on in response to the new normal, and compiled a draft of a basic report that organized key points and important matters to keep in mind to consider utilization, planning, design, etc. in response to infection prevention measures and the new normal.

〔研究目的及び経緯〕

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が収束しない中、公園をはじめとする公共空間 (公園のほか、公園と類似した機能をもつ緑地や広場空間、また、一時的な滞留機能を持たせた道路空間を含める。) においては、その感染防止対策を踏まえた計画・設計、管理・運営やニュー・ノーマルに対応した利活用が必要となっている。

国土交通省が令和2年8月7日に発表した「ニュー・ノーマルに対応した公園の活用」では、感染症対策による活動制限・運動不足の長期化によるコロナ禍の健康二次被害も考慮しつつ、公園利用の基本的なポイントを整理している。具体的な利用については各地の状況に応じて判断することとされており、また、知見の集積及び感染状況等によって、逐次見直しを行う可能性も指摘している。

このような状況で、国土技術政策総合研究所においては、令和3年度より、長期的な観点での感染防止対策の記録を行うとともに、今後の効果的な事業の推進に貢献することを目的に、都市公園における新型コロナウイルスの感染防止対策を踏まえた取組及び利活用に係る総括的な調査や個別事例調査を進めており、都市公園を対象に、感染防止対策を踏まえた計画・設計・管理運営及びニュー・ノーマルに対応した利活用等のポイントや留意点を整理した公園管理者向けの技術資料をとりまとめることとしている。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症発生後の公園利用に関する文献調査、感染防止対策とニュー・

ノーマルに対応した今後の都市公園の利活用の整理、及び都市公園における感染防止対策やニュー・ノーマルに対応した利活用及び計画・設計等のポイントや留意点等を整理した基礎資料 (案) を作成した。

〔研究内容〕

1. 新型コロナウイルス感染症発生後の公園利用に関する文献調査

感染症発生後の公園利用に関する研究動向を把握するために、令和4年度の学会誌等を対象に文献調査を行い、基礎資料 (案) 作成のため、過年度調査分も含めて文献タイトル、出典、概要についてとりまとめた。

2. 感染防止対策とニュー・ノーマルに対応した今後の都市公園の利活用の整理

(1) 都市公園における感染防止対策の整理

都市公園に特徴的な感染防止対策について、12対策項目抽出し、項目毎に2～3事例程度の事例調査を行った。調査方法は、ウェブサイト、学術論文及び業界誌等の文献調査を基本としたが、公園管理者等に対して電話・電子メールによりヒアリングや資料請求による補足も行った。調査項目は、以下の項目を含むものとした。

調査項目：都市公園属性 (管理者、公園名・種別・規模・立地、公園内での実施場所)、具体的な感染防止対策の概要、公園管理者側で必要な措置 (ハード面及びソフト面)、利用者側の利用条件、課題・留意点

(2) ニュー・ノーマルに対応した今後の都市公園の利活用の整理

ニュー・ノーマルに対応した新たな都市公園の利活用について、11 実施事例項目を抽出し、項目毎に 2～3 事例程度の事例調査を行った。調査方法は、ウェブサイト、学術論文及び業界誌等の文献調査を基本としたが、公園管理者等に対して電話・電子メールによりヒアリングや資料請求による補足も行った。調査項目は、以下の項目を含むものとした。

調査項目：都市公園属性（管理者、公園名・種別・規模・立地、公園内での実施場所）、具体的な利活用の概要、公園管理者側で必要な措置（ハード面及びソフト面）、利用者側の利用条件、課題・留意点

3. 基礎資料（案）の作成

令和 3 年度調査結果、1.、2. の調査結果及び現在までに得られた知見等をもとに、都市公園における感染防止対策やニュー・ノーマルに対応した利活用及び計画・設計等のポイントや留意点等を整理した基礎資料（案）を作成した。

【研究成果】

1. 新型コロナウイルス感染症発生後の公園利用に関する文献調査

令和 3 年度調査分も含めて、4 学会誌、4 公園業界団体機関誌ほかから計 60 の論文及び記事を収集し整理した。

2. 感染防止対策とニュー・ノーマルに対応した今後の都市公園の利活用の整理

(1) 都市公園における感染防止対策の整理

表-1 に示すとおり、12 の対策項目を抽出し、計 24 事例についてヒアリング調査を行った。

表-1 都市公園における感染防止対策の事例調査抽出結果

対策の分野	対策項目	事例 No.	事例（具体的な対策項目）
1. 閉園・部分閉鎖・施設閉鎖	1) 閉園・部分閉鎖・施設閉鎖	1	公園の閉園
		2	部分閉鎖（施設のみ含む）
2. イベントやプログラム対策	2) イベントやプログラム対策	3	集客を伴う大規模イベント
		4	桜祭り等のお花見イベント
3. 衛生対策	3) 清掃・消毒・接触防止	5	非接型水栓（自動水栓等）への変更
		6	遊具等への抗菌抗ウイルス加工コーティング実施
		7	空気清浄機・加湿器等の導入
	4) 飛沫防止	8	パーテーション、ビニールシート等の設置
		9	入園時・施設受付時の検温実施
	5) 基本的な感染防止対策	10	公園管理の現地職員の健康チェック
		11	コロナ関連の場所の提供等
4. 3 密回避対策	7) 間隔確保	12	利用者間の間隔を確保するためのベンチの一部の利用停止等
		13	間隔確保のための目印等の表示（受付を待つ列の間隔を保つための足型表示サイン等）
		14	順路設定による滞留の防止
		15	間隔確保のための工事の実施（据付式野外車の間引き工事、園路幅の拡幅工事等）
		16	施設利用の時間制限（予約制・入替制）
	8) 時間・人数の制限	17	施設利用の人数制限（入場者数の管理）
		18	飲食店のテイクアウトサービス
	9) 人との接触回避	19	飲食店のキッチンカーの移動販売車設置許可
		20	センサー・監視カメラ等を利用した混雑度把握による注意喚起
	10) 混雑の見える化	21	看板等の掲示
5. 利用者への注意喚起	11) 利用者への注意喚起	22	ホームページや SNS での周知
6. ガイドラインの作成	12) ガイドラインの作成	23	公園担当部局が作成
		24	指定管理者が作成

(2) ニュー・ノーマルに対応した今後の都市公園の利活用の整理

表-2 に示すとおり、11 件の利活用の実施事例項目を抽出し、計 27 事例についてヒアリング調査を行った。

3. 基礎資料（案）の作成

基礎資料（案）の目次構成は図-1 の通りである。

表-2 ニュー・ノーマルに対応した今後の都市公園の利活用の事例調査抽出結果

利活用の分野	利活用項目名	実施事例項目名	事例 No.	事例（具体的な実施事例項目）
1. 社会動向や人々の行動に対応した利活用（「うき」の再（リ）デザイン）	A から始まった利用	1) 仕事の間としての公園利用（リモートワークのための場の提供）	1	テレワークパーク
			2	リモートワークの場
			3	コワーキングスペース
		2) 3 密回避の措置にて利便性を向上させた公園利用（キャッシュレス化）	4	キャッシュレス決済による券売
			5	キャッシュレス決済や予約システム
	B オンラインの活用	3) オンラインを用いたイベント・プログラム（オンラインを用いたイベント）	6	キャッシュレスによる入園
			7	動画配信による講習会
		4) オンラインを用いた情報受発信（オンラインを用いた公園情報等の配信）	8	オンライン観察会
			9	公園紹介動画の配信
			10	動画配信による桜祭り
	2. 公園の空間特性を活かした利活用（「かたち」の再（リ）デザイン）	A 屋外空間での利用の促進	11	花畑のバーチャルツアー
			12	キャンプサイトの開設
			13	地域活性化や空間利用の可能性を検証
			14	セルフで楽しめるプログラム
		B 屋内利用からの移行・誘導	15	スポーツ観戦のパブリックビューイング
3. 利活用（「しくみ」の再（リ）デザイン）	A 既存の主体と公園との連携による利活用	6) 園路・広場・駐車場の利活用（ドライフインシアター等のパブリックビューイングイベント）	16	ドライフインシアター
			17	屋外でのヨガ
		7) 屋内プログラム等の屋外実施（屋内プログラムの屋外実施）	18	屋内から屋外開催にしたクラフト体験
			19	オープンカフェの常設
		8) 屋外での飲食提供の追加・拡大（キッチンカー等による飲食サービスの提供）	20	公園を屋外ダイニングに立ててる
	B 新たな主体との連携による利活用	9) 地域内の連携による利活用	21	マイクロツーリズム
			22	スマホによるスタンプラリー
			23	地域内の複数公園による連携事業
			24	全国の都市公園のよる連携イベント
		10) 公園間の連携による利活用	25	世界同時のライトアップイベント
			26	公募型行為許可によるイベント試行
	C 新たな主体との連携による利活用	11) 社会実験等の公募による利活用の試行・検証（公募型行為許可）	27	公園活用の企画・運営者の公募と試行

1. 新型コロナウイルス感染症の経緯及び対策
1.1 経緯
1.1.1 日本及び世界の新型コロナウイルス感染状況の推移
1.2 感染防止対策
1.2.1 感染症防止対策
1.2.2 イベント等の集客・人流に関する感染防止対策の変遷
2. 新型コロナウイルス感染症の経緯及び対策
2.1 都市公園関連の感染症防止対策に関する国の方針・ガイドライン等
2.1.1 道路占有許可基準の緩和措置
2.1.2 都市公園関連の感染症防止対策に関する国の方針
2.1.3 都市公園関連の感染症防止対策に関するガイドライン
2.2 都市公園における感染防止対策
2.2.1 都市公園における感染防止対策
2.2.2 閉園・部分閉鎖・施設閉鎖
2.2.3 イベントやプログラム対策
2.2.4 衛生対策
2.2.5 3 密回避対策
2.2.6 利用者への注意喚起
2.2.7 ガイドラインの作成
2.3 アンケート調査結果から見た感染防止対策
2.3.1 新型コロナ感染症発生以降の新たな公園の利活用
3. ニュー・ノーマルに対応した今後の都市公園の利活用
3.1 ニュー・ノーマルに対応した新たな公園利活用の現状
3.1.1 国土交通省が設置した検討会等の参考資料
3.1.2 ニュー・ノーマルに対応した今後の都市公園の利活用
3.2 ニュー・ノーマルに対応した新たな公園利活用の方向性
3.2.1 ニュー・ノーマルに対応した新たな公園利活用の方向性

図-1 基礎資料（案）の目次構成

【成果の活用】

基礎資料（案）の内容を精査し、都市公園における感染防止対策を踏まえた計画・設計・管理運営及び今後の利活用等のポイントや留意点を整理した公園管理者向けの技術資料をとりまとめ、公表していく。